

ALES
DYNAMIC
ROOF

1PACK CATION SEALER

水性1液スレート屋根用カチオンシーラー

アレスダイナミック1液カチオンシーラー

1液で環境に優しい水性カチオンシーラー
新生瓦の塗替えにベストセレクト

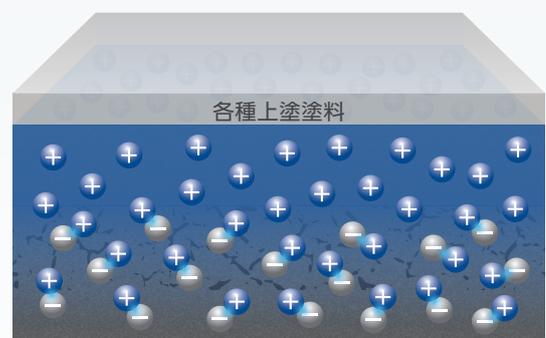
強力な付着性

環境対応

1液・高性能を実現したテクノロジー



超微粒子の特殊ナノカチオン樹脂が高い浸透力と毛細管現象で新生瓦など下地層に浸透



特殊ナノカチオン樹脂が下地と強力に付着すると同時に脆弱層を固化

アレスダイナミックルーフ1液カチオンシーラー

■ 荷姿 15kg

■ 適用下地

- ・住宅屋根用化粧スレート(新生瓦)
- ・波形スレート ・厚形スレート瓦

※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)、粘土瓦には適用できません。

■ 上塗可能塗料

- ・ラグゼMUKIルーフ
- ・アレスダイナミックルーフアクア
- ・アクアヤネフツ

標準塗装仕様

■住宅屋根用化粧スレート(新生瓦)、波形スレート、厚形スレート瓦

工程	塗料名・処置	荷姿	希釈率(重量%)	塗装回数	標準所要量(kg/m ² /回)	塗装方法	標準塗装間隔(23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケ等は高圧水洗浄(10~15MPa)で除去してください。その後、水分がなくなるまで1~2日程度十分に乾燥させてください。乾燥後、塗膜や下地の状態を確認してください。						
下塗	アレスダイナミックルーフ1液カチオンシーラー	15kg	0(無希釈)	1~2※1	0.13~0.2※2	ハケ・ローラー	2時間以上7日以内
上塗	ラグゼMUKIルーフ	15kg	0~10(上水)	2	0.15~0.25	ハケ・ローラー エアレス	2時間以上7日以内
縁切り	塗装後、水切り部分で住宅屋根用化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合には、皮スキ等で必ず縁切りを行ってください。瓦の上下に隙間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により漏水や素材の腐食・塗膜剥離・膨れなどに繋がる恐れがあります。						

※1 劣化した吸込みの善い素材の場合、表面に艶がでるまで塗り重ねてください。

※2 標準所要量は被塗物の形状や塗装条件によって増減することがあります。特に劣化したスレート屋根などでは5割以上増加することがあります。

※劣化が著しい場合(全体的に塗膜の剥がれが見られ、下地表面は脆く、吸込みが大きい場合)、下塗に「アレスダイナミックルーフマイルド透明」または「アレスダイナミックルーフ1液エポシーラー」を使用してください。

※塗膜の剥がれ、吸込み等が少ない健全な塗膜状態の場合「アレスダイナミックルーフ1液エポシーラー」を使用してください。

【施工上の注意事項】

- 本注意事項及びご使用になる上塗のカatalogに記載の注意事項を必ずご確認の上、塗装を行ってください。
- 粘土瓦(釉薬瓦、いび瓦など)、洋風瓦には適用できません。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛かった場合や、低温、高湿度、通風の悪い環境では、ふくれ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装をさしてください。
- 可塑剤が多く含まれる部材(塩ビ鋼板、ゴムパッキン、ラミネート、合成皮革、プラスチック、シーリング材など)への塗装はさしてください。粘着や軟化が生じるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。
- 塗料用シンナーで溶解する旧塗膜や下地の場合には塗装しないでください(ちぢみ、にじみ、中うみ、割れなど発生する場合があります)。
- 気温5℃以下(低温)、湿度85%以上(高湿)での施工はさしてください。
- 屋外において降雨、降雪、強風のおそれがある場合は塗装をさしてください。
- 塗装間隔は環境(温度、湿度、換気回数など)や膜厚によって変わります。
- 施工当日に被塗面に結露の発生が予想される場合、施工は行わないでください。
- 結露が発生する場所では、塗料中の微量の水溶性成分が表面に溶出し粘着物となって析出することがあります。粘着物は水拭きや水洗で除去してください。
- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などにより増減することがあります。
- 塗面に降雨や結露の影響を受けた場合は、白化やつや引けなどの異常が生じやすくなります。山間部や河川近くなどの夜露の早くおりの多湿地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。
- 気象条件によりますが、塗装作業は、原則として晴天日の午前9時から午後3時までの時間を推奨します。
- 秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- 吸い込みの多い新生瓦などの塗り替え時はシーラーを塗装後にガムテープで基材との密着性を確認し、はがれが生じる部分は塗膜をはく離し、その部分に再度シーラーを塗付してください。
- 新生瓦などの業系系屋根材の重なり部の隙間に塗料が入り込んだままにすると、降雨の排水性が悪くなり、漏水が生じることがあります。そのため、塗装後に屋根材同士が接合した箇所を皮スキ、塗膜力ッターで縁切り処理を行ってください。もしくは、塗装前にあらかじめ専用スペーサーを挟みこんだ後に塗装を行ってください。
- シーリング面への塗装はさしてください。汚染や粘着、割れの原因となります。
- 補修塗り用として使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際は、塗装方法や凹凸の違などにより、仕上がりに若干の差が生じる場合があります。

【ご使用上の注意事項】

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】

取り扱った作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱った作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱った後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【対応】

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とす。痛みや外傷等がある場合は、医師の診

察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保管】

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

【廃棄】

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】

本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工者に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗りしてごである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

(25年03月01日PKO) カatalogNo.981